

2023 年度 10 月 野外活動

## 堺自然ふれあいの森・和泉リサイクル環境公園・久保惣美術館

日時： 2023 年 10 月 6 日(金) 10:00～15:00  
集合場所： 泉北高速線 梅・美木多駅  
天候： 晴れ  
参加者： 菊地、長谷川、梶木、小林  
企画・記録： 小林

目的：堺自然ふれあいの森では堺の南部丘陵の緑地の中心にあり、貴重な森林地帯の保全し、昔の里山の風景を学習する。

和泉リサイクル環境公園では大栄環境の残土埋め立て地としての場所をリサイクル公園として、残土の汚染状況を監視しながら跡地利用とし、花とグラウンドとして開放している。企業が地域社会への恩返しと運営している。企業の姿勢を知る。

久保惣美術館は明治時代から綿業を営んでいた。昭和 52 年に廃業し、その企業の業績を地域に恩返しをする意味で和泉市に寄贈され美術館が開館された。

現在、宗達—物語の風景 源氏・伊勢・西行—が展示されている。



行程：10:00 梅・美木多～10:30 堺自然ふれあいの森～11:50 昼食～13:10 和泉リサイクル環境公園～14:20 久保惣美術館～15:20 泉北高速線 和泉中央駅で解散

堺自然ふれあいの森（指定管理吉田さんの説明）

堺の南部丘陵地帯が堺市の緑地の残された地域でその中心に堺自然ふれあいの森がること、この地域では里山としての機能を有していた地域で、堺自然ふれあいの森にも里山の風景があります。堺市の小学校の校外学習を受け入れ、自然に親しむプログラムを揃えて楽しんでもら



っています。

いっちゃんクラブ（ボランティア組織）が森の学校として、各組織（樹林管理、農業活動、調査研究、環境学習、クラフト活動）が活動していることが説明された。

### 和泉リサイクル環境公園

係りの人からお話を伺った。大栄環境の活動が、当時環境汚染だ批判を受けていた、しかし管理をしっかりして、行政からお墨付きがありました。環境調査等のデータがクリアしていることで地上を整備として、リサイクル公園として、「花とスポーツ公園」として開放されたとお話がありました。7万6千m<sup>2</sup>に、四季折々の花が咲き乱れる農園エリアの他、多目的グラウンド、ハーブ園、日本庭園などがあり、近くの処理場はメガソーラーとして、地上部分を活用しているとも話されていました。



### 久保惣美術館

「久保惣」（久保惣株式会社）は、明治時代からおよそ100年にわたり綿業を営み、泉州有数の企業として大きく発展しました。昭和52年の廃業を機に三代惣太郎氏が和泉市の地域文化発展と地元への報恩の意を込め、美術品、および美術館の建物、敷地、基金が和泉市へ寄贈され、昭和57年10月に、寄贈者を顕彰する館名をつけ、久保家旧本宅跡地に開館した日本と中国の絵画、書、工芸品など東洋古美術を主に約12,000点を所蔵し、所蔵品をいかした年4~5回の企画展と年1回の独自企画の特別展を開催しています。さらに、展覧会以外にも、茶会やコンサート、市民による作品展など、市民の創作活動並びに発表の機会と場を提供し、市の文化振興につとめています。現在の展示は特別展「宗達 物語の風景 源氏・伊勢・西行」が展示されています。

